

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	219
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
	法令・例規等				
事業目的	対象	新たな産業用地			
	意図	企業誘致（企業の地方移転・研究開発型拠点の機能強化）や新規立地に向けた基盤整備			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	（仮称）龍江インター産業団地計画地において、産業団地整備工事と自然環境調査を実施しました。産業団地整備工事では第1造成地、調整池、市道1-71号線及び市道93号線の整備を行いました。自然環境調査では、猛禽類のモニタリング調査を行いました。 また、残りの区画の造成工事については、地権者との調整に時間を要したため、工事実施スケジュールの再検討を行い、農振除外手続き、道路用地買収手続きなど可能な手続きを行いました。		産業用地調査業務委託費			2,958		
			借地料			145		
			産業用地整備工事費			56,488		
			その他の経費			0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	計画	実績		
	産業団地整備面積	ha	0.25	0.25	0.7	0		
1年度決算(千円)	予算額	100,953	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	59,591	(地) 地方道路等整備（充当率90%）					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 繰越金				
		県支出金	0	30→1 繰越明許費 42,806千円				
		地方債	11,600					
		その他	42,806					
一般財源	5,185							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	12	3	100,953	59,591	産業用地整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・第1造成地の整備工事では、現場での湧水処理、泥土等残土処分などが必要となり工期の延長を行い実施しましたが、今後の工事においても同様の課題が想定されます。また、工事の進捗に伴い事業費が増加している状況となっており、より効率的な事業の実施方法の検討が必要となっています。							
上記の課題解決のための有効策		・今後の造成工事に向けた工法等の検討、事業費の調整などの検討が必要です。また、残る区画の造成に向け、地元関係者及び各種許認可手続きの調整を進め、造成工事の早期着手に向けた取り組みが必要となります。							
次年度に向けての取り組み		・第2造成地等の造成に向けた工法等の検討、事業費の調整を進め、早期に着手が可能となるよう計画的に事業を進めます。第2造成地等の造成工事の進捗にあわせ、第1造成地の売却に向けた取り組みを行います。また、自然環境調査を実施し、周辺環境へ配慮した事業を行います。							